	川高玉馬	門学校	開講年度 令和06年度(2	2024年度)	授業科目	体育 [	
科目基礎		N 11 1/V	ארן או <del>ין פונויון אין פונויון אין פונייין ויי</del>	14/2)		THE	
科目番号				科目区分	一般/選択		
授業形態	態    授業			単位の種別と単位			
開設学科	科 機械シスラ			対象学年	1		
開設期通年				週時間数	2		
教科書/教	材						
担当教員		日比 端洋					
到達目標	票						
①各種目の	の技能習得、	_ ルールの理解	解ができる。				
②ナーム>  ③授業にと	メイトとコミ 出席し、積	ミユニケーショ 阪的に運動する	iンをとることができる。 Sことの重要性を理解し実践できる。				
ルーブリ							
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レイ	 ベルの目安	未到達レベルの目安	
		ルールの理解	各種目の技能習得、ルールの理解 ができ、実践している	各種目の技能習得ができる	导、ルールの理解	各種目の技能習得、ルールの理解 ができない	
チームメイトとコミュニケーショ ンをとることができる			チームメイトとコミュニケーショ ンをとることができ、リーダーシ ップをとっている	チームメイトとこ ンをとることがで	コミュニケーショ ごきる	チームメイトとコミュニケーショ ンをとることができない	
授業に出席し、積極的にプレーす ることができる			授業に出席し、積極的にプレーす ることができる	授業に出席し、積	責極的にプレーす ている	欠席が多く、消極的な行動が目立 ち、プレーする意欲がみられない	
学科の至	]達目標耳	頁目との関係	<del>x</del>				
ディプロ	マポリシー	2					
教育方法	去等						
概要		コミュニク	「ーション力(表現力)、アクション	 カ、集中カ			
			ポーツを中心に学習することにより、種々競技における基本的な個人技の習得といった身体的技能および公正 責任などの心身の調和的発達を促すことを授業のねらいとする。また、体力テストの測定結果をもとに自己の 動能力を認識し、それらの能力を高めるために定期的に運動することの重要性を理解することも授業のねらい ちる				
注意点 授業の属	属性・履値	授業で学習 とが体力の	などの身体的事情で長期見学する場合を表現の場合の基本技術を身につけることは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	とが大切である。 業に出席し、積極的	をいったがある。 いし、いったいのでは、 いったがり、 いったが、 いったが、 いったが、 はいっとが、 はいっとが、 はいっとが、 といるが、 とい。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。	19 ること。定期的に運動すること。定期的に運動すること。 5重要である。そのため、出席状況	
□ アクテ	-ィブラーニ	- <i>\_/</i> ブ					
授業計画			□ ICT 利用	☑ 遠隔授業対応	;	□ 実務経験のある教員による授業	
又未可止	—————————————————————————————————————		│□ ICT 利用	☑ 遠隔授業対応		□ 実務経験のある教員による授業	
	<u> </u>		□ ICT 利用 	,	週ごとの到達目標	□ 実務経験のある教員による授業	
		週 担 1 週 ~	受業内容 副前指導 陸上競技への導入 ~1年間の授業計画を説明する。スタ・	ーティングブロッ	週ごとの到達目標陸上競技で使用する	<ul><li>□ 実務経験のある教員による授業</li><li>るスターティングブロックの設置が 用することができる。</li></ul>	
	<u> </u>	週 担 1週 (2	受業内容 副前指導 陸上競技への導入 ~1年間の授業計画を説明する。スターフの使用法、円盤投げの注意事項を学 型上競技の基本技能 ~陸上競技の各種目における基本技術	−ティングブロッ 習する〜	週ごとの到達目標 陸上競技で使用すできる。また, 使 スターティングブ び, 円盤投げがで	るスターティングブロックの設置が	
		週 担 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	受業内容 副前指導 陸上競技への導入 ~1年間の授業計画を説明する。スタ・フの使用法、円盤投げの注意事項を学 型上競技の基本技能	ーティングブロッ 習する〜 の重要性を理解	週ごとの到達目標 陸上競技で使用すできる。また, 使 スターティングブ び, 円盤投げができる。 とができる。 スターティングブ	るスターティングブロックの設置が 用することができる。 コックを利用した50m走, 走り幅跳	
	1stQ	週 括 1週 (2 2週 (L 3週 (L 10 3週 (L 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	受業内容 副前指導 陸上競技への導入 ~1年間の授業計画を説明する。スタークの使用法、円盤投げの注意事項を学 整上競技の基本技能 一陸上競技の各種目における基本技術 一、その技術を練習する~ を上競技の基本技能 一を上競技の基本技能	ーティングブロッ 習する〜 の重要性を理解 の重要性を理解	週ごとの到達目標 陸上競技で使用すできる。また、使 スターティングブで、円盤投げができる。 スターテとができる。 スターア盤投げができる。 スターティングブ	るスターティングブロックの設置が 用することができる。 コックを利用した50m走, 走り幅跳 きる。また, 学生同士で計測するこ コックを利用した50m走, 走り幅跳	
		週 1週 2週 2週 3週 4週 5週	受業内容 副前指導 陸上競技への導入 ~1年間の授業計画を説明する。スタークの使用法、円盤投げの注意事項を学 を上競技の基本技能 陸上競技の各種目における基本技術 ~を上競技の各種目における基本技術 ~を上競技の各種目における基本技術 ~と競技の各種目における基本技術 ~と見競技の各種目における基本技術 ~とし競技の各種目における基本技術 ~、その技術を練習する~ を上競技の基本技能 ~とし競技の基本技能 ~とし競技の基本技能 ~を上競技の各種目における基本技術 ~、その技術を練習する~ 「体力テストの実施 ~が、カテストの屋内種目を実施する	ーティングブロッ 習する〜 の重要性を理解 の重要性を理解	週ごとの到達目標 陸上競技で使用すできる。また、使 スターティ投ができる。 スターア盤さる。 スグ、円盤さる。 スグ、円できる。 スグ、円できる。 スターティングブ とができる。 スターティングブ とができる。	るスターティングブロックの設置が 用することができる。 コックを利用した50m走, 走り幅跳 きる。また, 学生同士で計測するこ コックを利用した50m走, 走り幅跳 きる。また, 学生同士で計測するこ コックを利用した50m走, 走り幅跳 きる。また, 学生同士で計測するこ 番跳び, 握力, 長座体前屈, 20mシ	
÷ Hn		週	受業内容 副前指導 陸上競技への導入 ~1年間の授業計画を説明する。スタークの使用法、円盤投げの注意事項を学 を上競技の基本技能 ~陸上競技の基本技能 ~性上競技の基本技能 上競技の基本技能 上競技の基本技能 、その技術を練習する~ を上競技の基本技能 、その技術を練習する~ を上競技の基本技能 、その技術を練習する~ を上競技の基本技能 、その技術を練習する~ を上競技の基本技能 、その技術を練習する~ を上競技の本種目における基本技術 、その技術を練習する~	ーティングブロッ 習する〜 の重要性を理解 の重要性を理解 の重要性を理解 。	週ごとの到達目標 陸上競技で使用すできる。 スターアはができる。 スターアはができる。 スターアとうできる。 スグ・ができる。 スグ・がとかっていがができる。 スグ・アウェーがができる。 スグ・アウェーがができる。 スグ・アウェーがができる。 スグ・アウェーがができる。 スグ・アウェー・スグ・アウ・アウ・スグ・スグ・アウ・スグ・スグ・アウ・スグ・スグ・スグ・スグ・スグ・スグ・スグ・スグ・スグ・スグ・スグ・スグ・スグ・	るスターティングブロックの設置が 用することができる。 コックを利用した50m走, 走り幅跳 きる。また, 学生同士で計測するこ コックを利用した50m走, 走り幅跳 きる。また, 学生同士で計測するこ コックを利用した50m走, 走り幅跳 きる。また, 学生同士で計測するこ 黄跳び, 握力, 長座体前屈, 20mシ を行う げ, 立ち幅跳びの計測を行う	
前期		週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週	受業内容 副前指導 陸上競技への導入 -1年間の授業計画を説明する。スタ- 7の使用法、円盤投げの注意事項を学 を上競技の基本技能 -陸上競技の基本技能 -陸上競技の基本技能 -陸上競技の基本技能 -陸上競技の基本技能 -陸上競技の基本技能 -陸上競技の各種目における基本技術 - 大。その技術を練習する~ を上競技の各種目における基本技術 - 大。その技術を練習する~ を上競技の各種目における基本技術 - 大。その技術を練習する~ - 大の技術を練習する~ - 「体力テストの実施 - 新体力テストの実施 - 新体力テストの実施 - 新体力テストの室外種目を実施する - 大のテストの室外種目を実施する - 大の大の変外種目を実施する - 大の大のを表現である。 - 大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の	- ティングブロッ 習する〜 の重要性を理解 の重要性を理解 の重要性を理解 。 。	週ごとの到達目標 陸上競技で使用すで スター開きる。 スグがで スター円で 一般きる・インががで スグとがター円できる・インががで スグとがター円できる・インががで スグとがの一方にある。 スがというががした。 反前がした。 スがいた しょの 大力 に しゃり で ここ しゃり で ここ しゃり で ここ しゃり で しゃり しゃり で しゃ	るスターティングブロックの設置が 用することができる。 コックを利用した50m走, 走り幅跳きる。また, 学生同士で計測するこ コックを利用した50m走, 走り幅跳きる。また, 学生同士で計測するこ コックを利用した50m走, 走り幅跳きる。また, 学生同士で計測するこ は, 歩生同士で計測するこ 横跳び, 握力, 長座体前屈, 20mシを行う ば, 立ち幅跳びの計測を行う び, 円盤投げの記録測定を行い, 自	
前期		週     打       1     週       2     週       3     週       4     週       5     週       6     週       7     週       8     週       8     週	受業内容 事前指導 陸上競技への導入 ~1年間の授業計画を説明する。スタフの使用法、円盤投げの注意事項を学 生 上競技の基本技能 ~陸上競技の各種目における基本技術 ~ その技術を練習する~ 性上競技の基本技能 ~ 性上競技の基本技能 ~ 性上競技の基本技能 ~ 性上競技の基本技能 ~ 性上競技の各種目における基本技術 ~ 大の技術を練習する~ 性上競技の各種目における基本技術 ~ 大の技術を練習する~ 性上競技の各種目における基本技術 ~ 大の技術を練習する~ 作人カテストの実施 ~ 新体カテストの実施 ~ 新体カテストの実施 ~ 新体カテストの実施 ~ 新体カテストの実施 ~ 大加テストの実施 ~ 大加東では、 ~ 大加東	ーティングブロッ習する〜 の重要性を理解 の重要性を理解 の重要性を理解 。。。。。	週ごとの到達目標 陸上競技で使用すで スター開きる。 スター関きる。 スグががで とのががで といるので スががで といるので スががで といるので スががで といるので スががで といるので スががで といるので にいるので にいるの	るスターティングブロックの設置が 用することができる。 コックを利用した50m走, 走り幅跳きる。また, 学生同士で計測するこ コックを利用した50m走, 走り幅跳きる。また, 学生同士で計測するこ コックを利用した50m走, 走り幅跳きる。また, 学生同士で計測するこ は, 握力, 長座体前屈, 20mシを行う ば, 立ち幅跳びの計測を行う び, 円盤投げの記録測定を行い, 自 歴技術を学び, 実施できるようにな	
前期		週	受業内容 事前指導 陸上競技への導入 ~1年間の授業計画を説明する。スタークの使用法、円盤投げの注意事項を学 整上競技の基本技能 ~陸上競技の基本技能 ~陸上競技の各種目における基本技術 ~ その技術を練習する~ を上競技の各種目における基本技術 ~ その技術を練習する~ を上競技の各種目における基本技術 ~ その技術を練習する~ を上競技の各種目における基本技術 ~ その技術を練習する~ を上競技の各種目における基本技術 ~ 不分力テストの実施 ~ 所体力テストの実施 ~ 新体力テストの実施 ~ 新体力テストの実施 ~ 新体力テストの実施 ~ 新体力テストの実施 ~ 新体力テストの実施 ~ 新体力テストの実施 ~ 大力テストの実施 ~ 大力テストの実施 ~ 大力テストの実施 ~ 大力テストの実施 ~ 大力テストの実施 ~ 大力テストの実施 ~ 大力テストの実施 ~ 大力テストの実施 ~ 大力テストの実施 ~ 大力テストの実が種目を実施する ~ 大力テストの種目の記録を測定する ~ 大力・ボールへの導入 ~ ソフトボールに必要な個人技能(キ	ーティングブロッ習する〜 の重要性を理解 の重要性を理解 の重要性を理解 。。。。。	週ごとの到達目標 陸上競技で使用すで スター開きる。 スター関きる。 スグががで とのががで といるので スががで といるので スががで といるので スががで といるので スががで といるので スががで といるので にいるので にいるの	るスターティングブロックの設置が 用することができる。 コックを利用した50m走, 走り幅跳きる。また, 学生同士で計測するこ コックを利用した50m走, 走り幅跳きる。また, 学生同士で計測するこ コックを利用した50m走, 走り幅跳きる。また, 学生同士で計測するこ は, 歩生同士で計測するこ 横跳び, 握力, 長座体前屈, 20mシを行う ば, 立ち幅跳びの計測を行う び, 円盤投げの記録測定を行い, 自	
前期		週 打	受業内容 事前指導 陸上競技への導入 一1年間の授業計画を説明する。スターフの使用法、円盤投げの注意事項を学 整上競技の基本技能 一陸上競技の各種目における基本技術 一次、その技術を練習する~ を上競技の各種目における基本技術 一、その技術を練習する~ を上競技の各種目における基本技術 一、その技術を練習する~ を上競技の各種目における基本技術 一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、	ーティングブロッ 習する〜 の重要性を理解 の重要性を理解 。 。 。 〜 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	週ごとの到達目標 陸上競技で使用すでできる。 アロック アできる アロック アできる アロック アできる アロック アできる アロック アでき アロック アール アール アール できる アルガ アール できる アルガ アール できる アルガ アール できる アルガ アール できる アルカ アール できる アルカール できる アルカール できる アール のまる アールの まる アール アールの まる アール アールの まる アール・アール アール アール・アール アール アール・アール アール アール・アール アール・アール アール・アール アール・アール アール アール・アール アール アール・アール アール・アール アール・アール アール アール・アール アール アール・アール アール アール・アール アール・アール アール アール アール アール アール アール アール アール アール	るスターティングブロックの設置が 用することができる。 コックを利用した50m走, 走り幅跳きる。また, 学生同士で計測するこ コックを利用した50m走, 走り幅跳きる。また, 学生同士で計測するこコックを利用した50m走, 走り幅跳きる。また, 学生同士で計測するこはが, 握力, 長座体前屈, 20mシを行うが, 立ち幅跳びの計測を行うが, 円盤投げの記録測定を行い, 自歴技術を学び, 実施できるようにな	
前期		週 打調 (人間 L M ( L	受業内容 事前指導 陸上競技への導入 ~1年間の授業計画を説明する。スターフの使用法、円盤投げの注意事項を学 整上競技の基本技能 陸上競技の基本技能 陸上競技の各種目における基本技術 ~性上競技の各種目における基本技術 ~性上競技の各種目における基本技術 ~性上競技の各種目における基本技術 ~性上競技の各種目における基本技術 ~性上競技の各種目における基本技術 ~性上競技の各種目における基本技術 ~性上競技の各種目における基本技術 ~性上競技の各種目における基本技術 ~大の大の大の実施 ~所体力テストの実施 ~新体力テストの実施 ~新体力テストの室外種目を実施する を上競技の種目記録測定 を上競技の各種目の記録を測定する が、インフトボールので必要別とは能する ~ブントボールのは要な個人技能する ~ブントボールの基本技術 ~ブントボールの基本技術 ~ブントボールの基本技術 ~ブントボールの基本技術 ~ブントボールの基本技術 ~ブントボールの基本技術 ~ブントボールの基本技術 ~ブントボールの基本技術 ~ブントボールの基本技術 ~ブントボールの基本技術 ~ブントボールの基本技術 ~ブントボールの基本技術 ~ブントボールの基本技術 ~ブントボールの基本技術 ~ブントボールの基本技術 ~ブントボールの基本技術 ~ブントボールの基本技術 ~ブントボールの基本技術 ~ブントボールの基本技術 ~ブントボールのが一ム実践 ~ブントボールのが一ム実践 ~ブとでゲーム・競技運営を行う~	-ディングブロッ 習する~ の重要性を理解 の重要性を理解 。 。 。 ~ ヤッチボール・ 習し、実践する	週ごとの到達目標 陸上競技をでする。 グラースできる。 ア投きる・イングが アウェーの アウェーの アウェーの アウェーの アウェーの アウェーの アウェーの アウェーの アウェーの アウェールの できる。 アウェールの アウェールの アウェールの グラール アウェール	るスターティングブロックの設置が 用することができる。 コックを利用した50m走, 走り幅跳きる。また, 学生同士で計測するこ コックを利用した50m走, 走り幅跳きる。また, 学生同士で計測するこ コックを利用した50m走, 走り幅跳きる。また, 学生同士で計測するこ は, 学生同士で計測するこ 横跳び, 握力, 長座体前屈, 20mシを行う ば, 立ち幅跳びの計測を行う び, 円盤投げの記録測定を行い, 自 を技術を学び, 実施できるようにな ができるように、ルールや戦略	
前期	1stQ	週     打事(人) 阿(人) 阿(人) (人) (人) (人) (人) (人) (人) (人) (人) (人)	受業内容 調前指導 陸上競技への導入 一1年間の授業計画を説明する。スターフの使用法、円盤投げの注意事項を学 を上競技の基本技能 一陸上競技の各種目における基本技術 一陸上競技の各種目における基本技術 一陸上競技の各種目における基本技術 一陸上競技の各種目における基本技術 一陸上競技の各種目における基本技術 一陸上競技の各種目における基本技術 一陸上競技の各種目における基本技術 一陸上競技の各種目における基本技術 一陸上競技の各種目における基本技術 一陸上競技の各種目における基本技術 一大力テストの実施 一大力テストの実施 一大力テストの実施 一大力テストの実施 一大力テストの実施 一大力テストの実施 一大力テストの実施 一大が一大の実施 一位上競技の各種目の記録を測定する 一位上競技の各種目の記録を測定する 一位上競技の各種目の記録を測定する 一つフトボールのに学習し、 ープフトボールの基本技術 ープフトボールの基本技術 ープフトボールのゲーム実践	ーティングブロッ 習する〜 の重要性を理解 の重要性を理解 。。。 。 やッチボール・ 習し、実践する	週ごとの到達目標 陸上競技をです。 スびとなった。 スびとなっている。 アヤガ でです。 アカー アで アロック アロック アロック アロック アロック アロック アロック アロック	るスターティングブロックの設置が 用することができる。 コックを利用した50m走, 走り幅跳きる。また, 学生同士で計測するこ コックを利用した50m走, 走り幅跳きる。また, 学生同士で計測するこ コックを利用した50m走, 走り幅跳きる。また, 学生同士で計測するこ は、	

	- 1						
14边	周	ソフトボールの実技試験 〜キャッチボール、ピッチング等の実技試験を実施する〜		ウィンドミル投法, キャッチボールの習熟度の確認を おこなう			
15边	周	授業評価アンケート ソフトボールのゲーム実	践	学生同士で試合運営を行う	5		
16i	周						
1週	<u> </u>	バレーボールへの導入 〜バレーボールに必要な ーパス、スパイク等)を	:個人技能(オーバー・アンダ :学習し、実践する〜	バレーボールの基礎技術を	r学び、実施できるようにす		
2週		バレーボールの基本技術 〜レシーブ、トス、アタックの攻撃方法を実践する〜		バレーボールにおける三段攻撃が実践できるようにす る			
3週		バレーボールの基本技術 〜レシーブ、トス、アタックの攻撃方法を実践する〜		バレーボールにおける三段攻撃が実践できるようにす る			
4週 3rdO	<u>I</u>	バレーボールの基本技術 〜相手の攻撃に対する守	「 『備を実践する~	ブロックも含めて、バレー ようにする	ブロックも含めて、バレーボールの守備を実践できる ようにする		
5週		バレーボールのゲーム実践 〜学生でゲームの運営を行う〜 学生同士で試合運営を行う					
6週	ļ ·	バレーボールのゲーム実践 〜学生でゲームの運営を行う〜 学生同士で試合運営を行う		5			
7週		バレーボールの実技試験 〜バレーボールの基本技		基本技術の習熟度を試験する			
8週	<u>.</u>	バスケットボールへの導 〜ドリブル・パス・シュ 実践する〜	[入 ート等の基本技術を学習し、	バスケットボールの基礎技術を学び,実施できるよう に取り組む			
9週		バスケットボールの基本技術 〜対人技能を含めたバスケットボールの基本動作・技術を学習し、実践する〜		バスケットボールのゲームができるようにルールを理解し,対人技能を習得できるように取り組む			
10岁	周	バスケットボールのゲーム 〜バスケットボールのゲームを実施する〜		学生同士で試合運営を行う			
11波	周	バスケットボールのゲーム 〜バスケットボールのゲームを実施する〜		学生同士で試合運営を行う			
4thQ 12法	周	バスケットボールのゲーム 〜バスケットボールのゲームを実施する〜		学生同士で試合運営を行う			
131	周	バスケットボールのゲーム 〜バスケットボールのゲームを実施する〜		学生同士で試合運営を行う			
14近	周	バスケットボールの実技試験 〜ドリブル・シュート等、バスケットボールの実技試験を行う〜		ドリブルシュート, フリースローシュート, ゴール下 からのシュートの習熟度の確認をおこなう			
15岁	周	授業評価アンケート バスケットボールのゲーム		学生同士で試合運営を行う			
16近	周						
モデルコアカリキュ	ラムの	学習内容と到達目標	<u> </u>				
分類	分野	学習内容 学習[	内容の到達目標		到達レベル 授業週		
評価割合							
				実技試験	合計		
総合評価割合	20		30	50	100		
前期	10		15	25	50		
後期	10		25	50			